

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3610125381		
法人名	医療法人 栄寿会		
事業所名	グループホーム ひかる		
所在地	徳島市名東町1丁目91番地		
自己評価作成日	令和4年10月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会		
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地 県立総合福祉センター3階		
訪問調査日	令和4年11月17日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームひかるは、眉山の麓の静かな住宅街にあります。2階の窓からは、春は桜・秋は紅葉と四季折々の自然を楽しんで頂けます。また、法人理念である「和顔愛語」として優しい笑顔と思いやりのある言葉使いで自分と周囲の人々を幸せにするを心掛け、利用者が毎日を笑顔で過ごして頂ける様に支援しています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、閑静な住宅街に位置している。近隣には、同一法人の運営する医療機関や他サービス施設があり、急変時などは24時間対応可能な状況を整備している。新型コロナウイルス感染症の流行下においても、月3回、家族等へ電話で状況報告を行ったり、2か月に1回、写真入りの便りを郵送したりして、連携を図り、意向にそったサービスの提供に努めている。身体拘束廃止委員会や栄養マネジメント会議、介護技術向上等各種委員会を整備し、職員一人ひとりが参画することで、職員のモチベーションアップに取り組んでいる。内部研修の充実を図り、職員が自己研鑽できる環境と機会を設け、サービスの質の向上につなげている。また、主治医や看護師、理学療法士等多職種とも連携しつつ、利用者一人ひとりに応じた生活や自立に向けた支援に努めている。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			ユニット1 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は、法人理念である「和顔愛語」について、内部研修にて理解し、また共有して、入居者様への介護の実践に活かせるように努めている。	事業所は、地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を掲げている。理念は、事業所内に掲示し、毎月の職員会議や日ごろの業務のなかで話しあい、意識づけを行っている。定期的に理念を見直す機会を設けている。契約時には、家族等にも理念について説明している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園から敬老の日にプレゼントを頂き、お礼にお手紙を入居者様と一緒に書きました。町内会の清掃活動に入居者様と参加し、コロナウイルスが終息すれば夏祭り・運動会等に参加して頂く予定です。	事業所は、自治会に加入し、清掃活動等に参加している。感染症(コロナ等)の流行下においても、近隣の保育園とプレゼントのやりとりをしたり、近隣住民から差し入れを受けたりして、可能な限り地域の一員として交流できるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議(現在は書面会議にて)町内会・長寿会の方々に参加して頂き、高齢者ケア等についても発表し、地域の方に活かしてもらっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて議題に掲げ、サービス内容や現状の報告し意見を頂き、それを実践出来る様に職員間で共有している。	2か月に1回、運営推進会議を開催している。感染症の流行下においては、各委員に書面で事業所の報告や情報交換を行っている。出された意見等は、職員間で共有し、サービスの質の向上に活かしているが、管理者は、多方面からの出席を得て、より充実した会議となることを目指している。	今後は、地域の有識者等、多方面からの出席を得て、意見や提案を得ることで、さらなる発展につながることに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月実績報告書を提出時に、市のながいき課、担当者の方と意見・情報交換を行っている。(現在は、コロナウイルス予防の為、郵送で行っているが、必要に応じて担当者様に確認しています)	管理者は、毎月、市の担当課に実績報告等を行い、助言を得ている。感染症の流行下においては、郵送や電話等を活用し、密に連携を図っている。また、地域包括支援センターから相談を受けるなど、協力体制を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護保険指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、法人内での内部研修に参加し、身体拘束の禁止基準を正しく理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所は、身体拘束に関するマニュアルを整備している。定期的に身体拘束廃止委員会や身体拘束に関する研修を開催している。家族等とも、身体拘束のリスクについて共有化を図っている。また、ヒヤリハットについて、職員間で話しあい、身体拘束をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	9/17に高齢者虐待についての研修会を行った。参加できなかった職員には、資料を読んでもらい伝達研修の報告書に記載してもらった。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			ユニット1 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な場合には、法人内の専門職と共に利用者様の自己の権利が表明出来る様に内部研修等も利用し学ぶ機会を持つようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様や家族様に、入居時の契約説明を行う時には、疑問や不安に思う事があれば、何時でも仰って頂く様に説明し、理解し納得された上で同意書に記入して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているほか、意見や要望等があれば気軽に言ってもらえるように、日頃から家族様ともコミュニケーションを取るようにしている。	事業所は、意見箱を設置し、利用者や家族等から意見を聞く機会を設けている。家族等には、定期的に利用者の写真や手紙、事業所だより等を送付し、意見等を引き出すことができるよう工夫している。出された意見等は、書面に残し、職員会議で話しあうなどして、運営面に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週火曜日に行われている職場連絡会や各種委員会にて現場の声を聴いてもらえる体制が組まれている。	事業所では、毎日の朝礼や職員会議等職員の意見や提案を聞く機会を設けている。年2回の個別面談で、職員一人ひとりから意見を聞いている。出された意見は、職員会議で話しあったり、法人の連絡会議等で報告したりして、運営面に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	2019年4月より、努力や成果を上げている職員に報いる人事考課制度を導入した。グループの理念を下に行動指針を基準に評価し職員を育成する仕組みになっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護技術向上プロジェクトを立ち上げ、実技指導の後、チェックを行いスキル・テクニックを磨いている。内部・外部研修への参加や介護福祉士・ケアマネの資格取得の勉強会を開催している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナウイルス感染症の関係で、今年度は看護学生・大学生の研修は、受けていない。グループ内で課長・主任・副主任研修を行い、交流・ネットワークにて情報交換をし、サービスの向上に努めている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			ユニット1 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居申し込み時に、要望等を確認するほか、入居されてからも困ったことがないか声掛けし、問題があった場合は、職員で話し合い解決の糸口を探すようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居後もリモート面会時に声掛けを行い状況等を伝え、要望があれば、それに沿った支援が出来る様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する前に、本人様の心身の状態・家庭環境等をカンファレンスし、家族様に説明・同意を頂きケアプランに反映しサービスの利用を開始しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食後にお盆を拭いてもらったり、洗濯物を一緒にたたんでもらったりした時に、職員が助かっている事を伝えている。利用者に感謝の気持ちを伝え自分の居場所がある事を感じて頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	リモート面会時にホームでの生活状況をお伝えし、ご家族の要望も取り入れながら、利用者様と共に支えていける様に努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や馴染みの方が、いつでも気軽に来られるような環境を作り、また家族様と外出出来るよう支援している。(現在は、コロナウイルス予防の為、外出制限中です)	事業所では、感染症の流行下において、窓越しでの面会を実施している。手紙や電話のやりとりも支援している。家族の協力を得つつ、自宅周辺のドライブや墓参り等に出かけている。習字等の趣味活動を支援し、利用者がこれまで培ってきた馴染みの関係が途切れることのないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃より、利用者様同士の関係を把握し、職員が声掛けしたり、体操等、またおやつの時等、利用者様同士が楽しめる時間を作り、交流が出来る様に支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			ユニット1 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併設の施設や病院に移られた方には、時折面会に行き、様子をお伺いしている。また、家族様より相談等もあり、支援している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話の中等から、観察にてその人の思いや暮らし方をチームケアで考え、本人様・家族様と相談し検討している。	職員は、日ごろの利用者とのかかわりのなかで、思いや意向の把握に努めている。意思の表出が困難な利用者については、会話や表情等に注目し、本人本位に検討している。また、家族や知人、前ケアマネジャー等から意見を得て、職員間で話しあい、その人らしい暮らしを支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、又は3ヶ月毎のカンファレンス時に本人様・家族様にこれまでの生活歴・暮らし方・生活環境を聞き取り、サービスの経過・状況等について話し合い把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態に変化があった方は、申し送りやケア記録・連絡ノートに記載し職員間で共有把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様や家族様とカンファレンス等で課題とケア等について話し合い、理学療法士とも連携し、必要に応じて介護用具の使用も考え、常にケアの改善に努め介護計画を作成している。	事業所は、利用者や家族、主治医、関係スタッフの意見を反映し、自立に向けた介護計画を作成している。3か月に1回、計画のモニタリングと見直しを行っている。利用者の心身状況の変化に応じて計画を変更するなど、柔軟に対応し、現状に即した計画となるよう取り組んでいる。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は、個別のケア記録に記載して、重要なことは、連絡ノートに記載し、他の職員が回覧しサインし、職員間で共有している。また、カンファレンスで介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様や家族様の状況、その時々課題等が発生された場合、柔軟な支援・サービスが行えるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			ユニット1 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の理髪店の方が来訪し楽しく話しながら散髪をされ、いつも来られるのを楽しみにされています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人様及び家族様にかかりつけ医の相談・希望を確認し、医療機関と連携し月3回医師・看護師の往診を行っている。	事業所では、利用者や家族等が希望するかかりつけ医の受診を支援している。通院は、他科受診を含め、家族等と話しあい、臨機応変に支援している。協力医療機関とは、24時間連絡可能な体制を築き、利用者や家族等の安心に繋げている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	様子がおかしいと思ったら、いつも連携の医師・看護師に連絡し、指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院検討委員会に参加し、協力医療機関内の地域連携室職員と連携し、情報提供又は、相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に本人様・家族様への説明の時に、重度化した場合の対応を説明し同意をもらっている。同意書にサインを頂き、医療に関する意思確認書にも記入して緊急時に対応している。	事業所では、看取りの指針を整備し、入居時の段階で利用者や家族等に説明し、同意を得ている。利用者の心身状況の変化に応じて、意向を再確認している。主治医や関係者と相談し、対応方針の共有化を図り、利用者や家族等の意向にそうすることができるようチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に対応出来るように、症状別緊急対応マニュアルがある。また、職員内部研修でも緊急時の対応について学習している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間・昼間を想定した避難訓練を年二回実施している。新人職員には、消化器の使用方法の説明もし、また、町内会の防災訓練にも参加している。	年2回、日中と夜間の災害を想定した避難訓練を実施している。年1回、地域性を考慮した水害等の避難訓練も行っている。災害マニュアルや備蓄品を整備している。管理者は、町内会の防災訓練に参加するなどして、災害時に備えている。今後、地域住民の参加を得た訓練の実施を検討している。	今後は、事業所で実施する避難訓練に地域住民の参加を得ることができるよう働きかけられたい。実際に訓練に参加してもらうことで、協力体制の強化につながることに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			ユニット1 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念(和顔愛語)に基づいた個人を尊重し、尊厳を守る事を心掛けた声掛けを行っている。また、本人のプライバシー等についても尊重している。	職員は、利用者一人ひとりの人格やプライバシーに配慮し、さり気ない声かけや誘導に努めている。事業所では、年1回、プライバシーや個人情報保護に関する研修会を開催し、サービスの質の向上に活かしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の希望を伺う事の他に、選択が困難な方には、自己決定できる環境を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人に合ったペースを日頃の様子または、カンファレンス等で話し合い、利用者様本位のペースに沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様が気に入っている服を選んで頂いています。季節に合わない服装をしている時には、さりげなく声掛けし、上に羽織る等、支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お誕生会の日には、お寿司・お赤飯・天ぷら盛り合わせ等、いつもと違う食事形態にし、食事を楽しんで頂いています。また、片付け時のお盆拭き等は、利用者様と一緒に畳んでいる。	事業所では、月1回の栄養マネジメント会議や3か月に1回の嗜好調査で、利用者の好み等を献立に反映している。差し入れの野菜を使用したり、おやつを手づくりしたりして、食事を楽しむことができるよう支援している。後片づけ等、できることは利用者と一緒にいき、やりがいにつなげている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士監修の元厨房より、食事の提供がある。盛り付けは、職員が個々の食事形態に合わせて刻んだり、ミキサーに掛けたり行っている。水分は、1日1000ml飲水してもらえ様に声掛けを行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きや嗽の声掛けをして、洗面所へ誘導確認しています。自分で出来ない利用者様には、職員が介助をお手伝いし、口腔内の清潔保持に努めている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			ユニット1 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人の排泄表を作成し、排泄パターンを把握して、その方に合った対応を行っている。排泄に失敗して衣類を汚染した方には、プライドを傷付けない様声掛けし更衣介助をしている。	職員は、排泄チェック表を活用し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。日中は、さり気ない誘導で可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の心身状況にあわせて、歩行器を使用し、トイレで排泄できるようになるなど、自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別の排泄表にてパターンを把握し、状態に応じて、食事・水分・下剤等で便秘にならないように支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ゆっくり入浴を楽しんで頂く為、午前・午後に分けて行っている。入浴を拒まれる方には、声掛けや職員を変えたり等して、無理強いくることなく入浴を支援している。希望に応じて同性介助を行っている。	事業所では、少なくとも週3回の入浴ができるよう支援している。利用者の希望に応じて、入浴剤を使用したり、長湯をしたりして、入浴を楽しむことができるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースで過ごしてもらっている。昼寝を希望される方には、ベッドで休んで頂いたり、介助が必要な方には支援させてもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各個人の薬ファイル(用量・効能・副作用)を作成し、服薬時は手渡し、飲み残しがないように確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たみ・お盆拭き等の役割を分担してもらっている。また、その季節の壁への飾りつけも手伝ってもらっている。天気が良い日には、近くのお花畑に散歩に行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染症予防(外出制限)の為、現在外出は控えている。コロナウイルスの感染状況を鑑みながら外出の検討中である。	事業所では、日ごろから事業所周辺の散歩に出かけている。感染症の状況にあわせて、年間計画及び月間計画を作成し、花見やドライブ等の外出を支援している。また、感染症対策を講じつつ、家族の協力を得て、一時帰宅を支援するなど、希望に応じて外出できるよう取り組んでいる。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			ユニット1 実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族様と相談し、必要があれば入居者様の能力に応じて、お小遣い程度のお金を持ってもらい、本人様が安心出来る様支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人へ電話が出来る様に支援している。本人が電話を掛けられない場合には、職員が対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの窓からは、植物が見え癒しの空間となっており、また、ホールや通路の壁には季節の工作を飾り心地良く過ごして頂く様に工夫している。	共用空間は、明るく清潔感がある。利用者と一緒に作成した季節の作品や散歩の途中で摘んだ季節の花を飾るなど、季節感を取り入れている。利用者の好みにあわせて、クラシック音楽を流すなど、居心地のよい空間づくりに取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様個人、入居者様同士、本人様が気に入られた場所で過ごされる様に支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人様や家族様と相談し、家具やお箸・スプーン等、日頃から使い慣れた物を持って来て頂きご自宅の様に落ち着て過ごされる様に支援している。	居室には、利用者一人ひとりの馴染みの家具や家族の写真、趣味のもの等を持ち込んでもらっている。安全面に配慮し、家具の配置を工夫するなど、安心して過ごすことのできる環境整備を行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけ、自分の力で出来る様に、トイレ・廊下・浴室には手摺を設置し、利用者様に依りて居室の入り口に大きく分かりやすく、表札も設置している。		

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			ユニット2 実践状況	実践状況	実践状況
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員は、法人理念である「和顔愛語」について、内部研修にて理解し、また共有して、入居者様への介護の実践に活かせるように努めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園から敬老の日にプレゼントを頂き、お礼にお手紙を入居者様と一緒に書きました。町内会の清掃活動に入居者様と参加し、コロナウイルスが終息すれば夏祭り・運動会等に参加して頂く予定です。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議(現在は書面会議にて)町内会・長寿会の方々に参加して頂き、高齢者ケア等についても発表し、地域の方に活かしてもらっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて議題に掲げ、サービス内容や現状の報告し意見を頂き、それを実践出来る様に職員間で共有している。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎月実績報告書を提出時に、市のながいき課、担当者の方と意見・情報交換を行っている。(現在は、コロナウイルス予防の為、郵送で行っているが、必要に応じて担当者様に確認しています)		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は、法人内での内部研修に参加し、身体拘束の禁止基準を正しく理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	9/17に高齢者虐待についての研修会を行った。参加できなかった職員には、資料を読んでもらい伝達研修の報告書に記載してもらった。		

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			ユニット2 実践状況	実践状況	実践状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な場合には、法人内の専門職と共に利用者様の自己の権利が表明出来る様に内部研修等も利用し学ぶ機会を持つようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者様や家族様に、入居時の契約説明を行う時には、疑問や不安に思う事があれば、何時でも仰って頂く様に説明し、理解し納得された上で同意書に記入して頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているほか、意見や要望等があれば気軽に言ってもらえるように、日頃から家族様ともコミュニケーションを取るようにしている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週火曜日に行われている職場連絡会や各種委員会にて現場の声を聴いてもらえる体制が組まれている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	2019年4月より、努力や成果を上げている職員に報いる人事考課制度を導入した。グループの理念を下に行動指針を基準に評価し職員を育成する仕組みになっている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護技術向上プロジェクトを立ち上げ、実技指導の後、チェックを行いスキル・テクニックを磨いている。内部・外部研修への参加や介護福祉士・ケアマネの資格取得の勉強会を開催している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナウイルス感染症の関係で、今年度は看護学生・大学生の研修は、受けていない。グループ内で課長・主任・副主任研修を行い、交流・ネットワークにて情報交換をし、サービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			ユニット2 実践状況	実践状況	実践状況
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居申し込み時に、要望等を確認するほか、入居されてからも困ったことがないか声掛けし、問題があった場合は、職員で話し合い解決の糸口を探すようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居後もリモート面会時に声掛けを行い状況等を伝え、要望があれば、それに沿った支援が出来る様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する前に、本人様の心身の状態・家庭環境等をカンファレンスし、家族様に説明・同意を頂きケアプランに反映しサービスの利用を開始しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食後にお盆を拭いてもらったり、洗濯物を一緒にたたんでもらったりした時に、職員が助かっている事を伝えている。利用者に感謝の気持ちを伝え自分の居場所がある事を感じて頂いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	リモート面会時にのホームでの生活状況をお伝えし、ご家族の要望も取り入れながら、利用者様と共に支えていける様に努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や馴染みの方が、いつでも気軽に来られるような環境を作り、また家族様と外出出来るよう支援している。(現在は、コロナウイルス予防の為、外出制限中です)		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃より、利用者様同士の関係を把握し、職員が声掛けしたり、体操等、またおやつの時等、利用者様同士が楽しめる時間を作り、交流が出来る様に支援している。		



自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			ユニット2 実践状況	実践状況	実践状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併設の施設や病院に移られた方には、時折面会に行き、様子をお伺いしている。また、家族様より相談等もあり、支援している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話の中等から、観察にてその人の思いや暮らし方をチームケアで考え、本人様・家族様と相談し検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、又は3ヶ月毎のカンファレンス時に本人様・家族様にこれまでの生活歴・暮らし方・生活環境を聞き取り、サービスの経過・状況等について話し合い把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態に変化があった方は、申し送りやケア記録・連絡ノートに記載し職員間で共有把握している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様や家族様とカンファレンス等で課題とケア等について話し合い、理学療法士とも連携し、必要に応じて介護用具の使用も考え、常にケアの改善に努め介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は、個別のケア記録に記載して、重要なことは、連絡ノートに記載し、他の職員が回覧しサインし、職員間で共有している。また、カンファレンスで介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様や家族様の状況、その時々課題等が発生された場合、柔軟な支援・サービスが行えるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			ユニット2 実践状況	実践状況	実践状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の理髪店の方が来訪し楽しく話しながら散髪をされ、いつも来られるのを楽しみにされています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人様及び家族様にかかりつけ医の相談・希望を確認し、医療機関と連携し月3回医師・看護師の往診を行っている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	様子がおかしいと思ったら、いつも連携の医師・看護師に連絡し、指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院検討委員会に参加し、協力医療機関内の地域連携室職員と連携し、情報提供又は、相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に本人様・家族様への説明の時に、重度化した場合の対応を説明し同意をもらっている。同意書にサインを頂き、医療に関する意思確認書にも記入して緊急時に対応している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に対応出来るように、症状別緊急対応マニュアルがある。また、職員内部研修でも緊急時の対応について学習している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間・休日を想定した避難訓練を年二回実施している。新人職員には、消化器の使用方法的説明もし、また、町内会の防災訓練にも参加している。		

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			ユニット2 実践状況	実践状況	実践状況
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念(和顔愛語)に基づいた個人を尊重し尊厳を守る事を心掛けた声掛けを行っている。また、本人のプライバシー等についても尊重している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の希望を伺う事の他に、選択が困難な方には、自己決定できる環境を作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人に合ったペースを日頃の様子または、カンファレンス等で話し合い、利用者様本位のペースに沿って支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人様が気に入っている服を選んで頂いています。季節に合わない服装をしている時には、さりげなく声掛けし、上に羽織る等、支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お誕生会の日には、お寿司・お赤飯・天ぷら盛り合わせ等、いつもと違う食事形態にし、食事を楽しんで頂いています。また、片付け時のお盆拭き等は、利用者様と一緒に畳んでいる。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士監修の元厨房より、食事の提供がある。盛り付けは、職員が個々の食事形態に合わせて刻んだり、ミキサーに掛けたり行っている。水分は、1日1000ml飲水してもらえる様に声掛けを行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きや嗽の声掛けをして、洗面所へ誘導確認しています。自分で出来ない利用者様には、職員が介助をお手伝いし、口腔内の清潔保持に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			ユニット2 実践状況	実践状況	実践状況
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個人の排泄表を作成し、排泄パターンを把握して、その方に合った対応を行っている。排泄に失敗して衣類を汚染した方には、プライドを傷付けない様声掛けし更衣介助をしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個別の排泄表にてパターンを把握し、状態に応じて、食事・水分・下剤等で便秘にならないよに支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ゆっくり入浴を楽しんで頂く為、午前・午後に分けて行っている。入浴を拒まれる方には、声掛けや職員を変えたり等して、無理強いないで入浴を支援している。希望に応じて同性介助を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのペースで過ごしてもらっている。昼寝を希望される方には、ベッドで休んで頂いたり、介助が必要な方には支援させてもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各個人の薬ファイル(用量・効能・副作用)を作成し、服薬時は手渡し、飲み残しがないように確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみ・お盆拭き等の役割を分担してもらっている。また、その季節の壁への飾りつけも手伝ってもらっている。天気が良い日には、近くのお花畑に散歩に行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルス感染症予防(外出制限)の為、現在外出は控えている。コロナウイルスの感染状況を鑑みながら外出の検討中である。		



自己	外部	項目	自己評価	自己評価	自己評価
			ユニット2 実践状況	実践状況	実践状況
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族様と相談し、必要があれば入居者様の能力に応じて、お小遣い程度のお金を持ってもらい、本人様が安心出来る様支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人へ電話が出来る様に支援している。本人が電話を掛けれない場合には、職員が対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールの窓からは、植物が見え癒しの空間となっており、また、ホールや通路の壁には季節の工作を飾り心地良く過ごして頂く様に工夫している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様個人、入居者様同士、本人様が気に入られた場所で過ごされる様に支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に本人様や家族様と相談し、家具やお箸・スプーン等、日頃から使い慣れた物を持って来て頂きご自宅の様に落ち着て過ごされる様に支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけ、自分の力で出来る様に、トイレ・廊下・浴室には手摺を設置し、利用者様に応じて居室の入り口に大きく分かりやすく、表札も設置している。		